

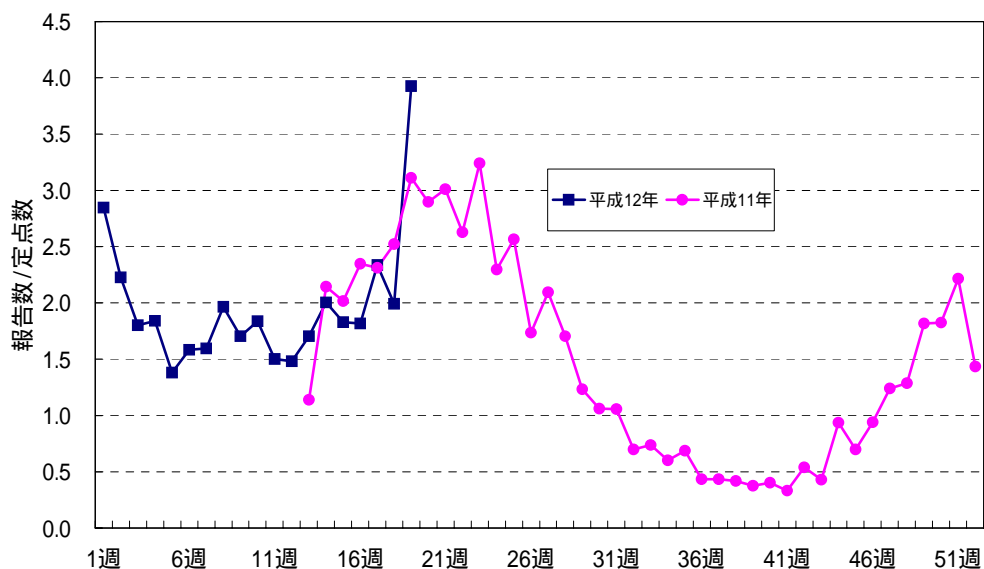
愛知県感染症情報

平成 12 年第 19 週（5 月第 2 週）

（コメント）

ヘルパンギーナ、麻疹及び流行性耳下腺炎の散発が見られます。

水痘及び A 群溶血性の報告数が増加しています。水痘は例年今頃から流行が始まる疾病なので注意してください。



水痘（名古屋市を含む。平成11年は、13週（4月1日～）から）

（先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ヘルペス歯肉口内炎 2 例、いずれも 5 才。

水痘がめだちました。

（一宮市 あさのこどもクリニック）

- 病原性大腸菌感染者 0-1 2 名（2 才女、13 才女）、0-18 3 才女
0-119 37 才

マイコプラズマ肺炎多発 男 3 名（6 ヶ月、5 才、22 才）

女 6 名（1 才、2 才、9 才、40 才、55 才、56 才）

（尾西市 城後小児科）

- ・ 急性胃腸炎散発。不明熱で 5~7 日続くものでCRP*（C反応性蛋白）が高いもの多く、その中には川崎病（疑い）もあり。

（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）

* CRP（C 反応性蛋白）について

試験管内で肺炎球菌の C 多糖類と沈殿物を形成するグロブリン。血清中への出現は、感染性か非感染性かの鋭敏な指標になる。

- ・ 成人の感染性胃腸炎がなぜか多かったです。

（扶桑町 いずみ内科）

- ・ A 群溶連菌、水痘が流行しています。

（江南市 みやぐちこどもクリニック）

● 尾張東部地区

- ・ 水痘流行傾向。溶血性レンサ球菌感染症流行中。突発性発疹、伝染性紅斑散発。感染性胃腸炎は小児、成人ともにまだ多数認められません。

（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）

- ・ 水痘 SSSS（ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）合併例 2 例あり

（美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院）

- ・ 連休明けで再び感染性胃腸炎の流行が見られます。

（春日井市 かがわ北病院）

- ・ 麻しんが今年初めて出ました。

（春日井市 片山こどもクリニック）

- ・ 带状疱疹 15 才女

（東海市 小児科八ヤカワ医院）

● 西三河地区

- ・ 病原性大腸菌 0-25 3才男

病原性大腸菌 0-6 9ヶ月男

（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）

- ・ ムンプスの 1 才 4 ヶ月（女）は 4 月 24 日にムンプスワクチン接種、5 月 11 日に発症。

水痘が多いようです。

（岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院）

- ・ 病原性大腸菌 0-1 VT1,VT2(-) 12 才女

（岡崎市 にいのみ小児科）

- ・ 病原性大腸菌 0-1 2 才男

（岡崎市 花田こどもクリニック）

- ・ 病原性大腸菌 0-1 VT1 (-)
カンピロバクター 2 名 (1 才女、8 才女)
病原性大腸菌 0-1 VT(-) 4 才男
病原性大腸菌 0-6 VT (-) 10 ヶ月女
(幸田町 とみた小児科)
- ・ 水痘と溶連菌感染症が目立ちます。
(刈谷市 まついこどもクリニック)
- ・ 水痘、溶連菌感染症が目立ちます
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ 水痘流行中。伝染性紅斑散発
(知立市 宮谷クリニック)
- ・ 水痘が増えてきました。
(西尾市 やすい小児科)
- 東三河地区
 - ・ 病原性大腸菌 0-18 5 才女。咽頭結膜熱 3 例中 2 例アデノチェック陽性
(豊川市 医療法人鈴木小児科医院)
 - ・ 水痘が 2 ヶ所の保育園にて流行しています。伝染性紅斑と溶連菌感染症が重なった病態を示す例が 3 例ほどあり。
(田原町 かわせ小児科)

(1~3 類感染症の発生状況)

細菌性赤痢患者 1 名。

豊川保健所から報告の 31 才女、5/4 発病、5/8 初診、5/11 診定、菌型はゾンネ。南米渡航歴あり。

腸管出血性大腸菌感染症患者 3 名

豊橋市保健所から報告の 1 才女 4/27 発病、5/3 初診、5/8 診定。菌型は、0-157 VT2(+).

豊橋市保健所から報告の 4 才男 5/9 初診、5/12 診定。菌型は、0-157 VT2(+).

知多保健所から報告の 31 才女 5/13 初診、5/13 診定。菌型は、0-157 VT2(+).

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

クロイツフェルト・ヤコブ病患者 1 名

2000年4月7日号(75巻14号)

ウイルス性出血熱：コンゴ共和国。マ-ルブルグ病。99年11月以後16例。今回6例報告ありウイルス学的に4例確認。ドルバ地区(注：同国東北部の金鉱地帯)の発生が続いていてWHOと国境なき医師団による予防措置が進行中。

ドイツ。ラッサ熱輸入例。死亡例がドイツから報告された。ナイジェリア国籍でナイジェリアで働いていてウイルス性出血熱に罹患、ドイツに緊急空輸された患者がウイルス検査の結果ラッサ熱と確定。接触者に関する検査実施中。

西太平洋地区のHIV/AIDS。98年の推定値では西太平洋地区では生存HIV感染者は70万人、年間の新規AIDS患者数は1万8千人となっているが実際よりは報告不足と思われる。感染・流行状況を歴史的にみると三期に分類される：第一波は男性同性愛主体の流行；80年代のオ-ストラリア、ニュージーランド。その後急速に消褪。80年から90年代に急増した注射器材の共用による静注薬剤常用者間の感染；中国、マレ-シア、ベトナム。その後の異性間性的接触による感染者の増加(カンボジア、パプアニュー-ギニア。カンボジアの売春婦のHIV陽性率43%)。

HIV以外の性感染症：クラミジア、淋病(問題は薬剤耐性菌の増加)、梅毒などいずれもカンボジア、パプアニュー-ギニア、南太平洋諸島などで陽性率が高くなっている。

熱帯感染症研究組織：WHOの東地中海地区事務所を中心に継続的な調査が下記3疾患を重点的に実施される：マラリア、ライシュマニア症、結核。

インフルエンザ。00年3月。ベラル-シュ(流行消褪)、ロシア共和国(B型)、南アフリカ(A型H1N1)。

3月31日-4月6日届出。コレラ：マダガスカル、ザンビア、シンガポール、オ-ストラリア(輸入例)。

2000年4月14日号(75巻15号)

髄膜炎菌髄膜炎：エチオピア各地区で大流行中。A型菌とC型菌。流行地区でワクチン緊急接種。ス-ダンでも流行中で国境なき医師団と国際赤十字が対策に活躍中。注目したいのはフランスで6例(死亡3例)、英国で17例(死亡4例)発生、いずれも血清型はW135で全例がイスラム教徒のメッカ巡礼の参加者かその接触者(注：例年サハラ南縁諸国のメッカ巡礼者が髄膜炎菌を輸入するのでサウジアラビア当局は髄膜炎菌ワクチン接種を義務づけている)であり、ワクチン接種励行とPCによる予防内服が勧告される。オランダにおける麻疹大流行：99年秋を中心に主として小学生で2,961例罹患。死亡3例、脳炎5例、他の合併症の要入院例63例、肺炎130例。オランダ全国としては87年以降MMR2回法による予防がすすめられ接種率は90%をこえるが宗教的理由から接種を拒否している集団(キリスト教原理主義者コミュニティ-)があり、92年にはこの集団でポリオの集団発生あり、今回もこの集団で発生している。

住血吸虫などの土壌伝染性寄生虫症カンファレンスのまとめ：00年2月25日。

インフルエンザ：ユ-ゴスラビア。A型とB型が流行。

4月7日-13日届出。コレラ：ザンビア。黄熱病：ブラジル。

インフルエンザ。00年3月。フィンランドと英国で散発中。A型とB型。

3月24-30日届出。黄熱：ボリビア、ブラジル、ペル-。